

「100 年コラボ企画！名古屋市市政資料館のタイルを楽しもう！」

# 折り紙建築と特別ツアー

明るい煉瓦色のやきものに覆われた名古屋市市政資料館は、大正 11 年（1922）、名古屋控訴院として建設されました。同年、東京の上野では「平和記念東京博覧会」が開催され、会場に集まったタイル業者の一団が、今後はこのような陶磁器製建築装飾を「タイル」と呼ぼうと、氣勢を上げました。その年からちょうど 100 年。

企画展の開催を記念し、ミュージアムを飛び出して、名古屋市市政資料館の建築に触れながら、「日本のタイルの 100 年」にも思いを巡らせるワークショップ × 見学会を開催します。



- 主催 多治見市モザイクタイルミュージアム
- 共催 名古屋市市政資料館
- 講師 笈清澄（建築家）、村瀬良太（建築史家）
- 場所 名古屋市市政資料館（現地集合）
- 対象 小学生以上（カッターを使用します）
- 定員 1 回あたり 20 人
- 参加費 無料
- お持ち物 使い慣れたカッターなどをお持ちの方は、ご持参ください。
- お申込み メールまたは FAX にて、①お名前 ②ご連絡先 ③参加人数をお知らせください。開館時間中は、お電話でのお申込みも可能です。

e-mail: [info@mosaictile-museum.jp](mailto:info@mosaictile-museum.jp) FAX: 0572-43-5114

9 / 2022  
18 (日)

1 回目：午前 10 時～

2 回目：午後 2 時～